

VII 豊かな「都」をつくる 22 農業・農地・農村・食と農の振興

(115) 奈良県豊かな食と農の振興条例の推進

これまでは

「奈良県豊かな食と農の振興に関する条例」を制定しました。(令和2年4月1日施行)
県庁組織に「食と農の振興部」を設置しました。

食への期待

- ・健康的な食生活実践による健康長寿
- ・おいしい食事の提供による地域観光振興

農への期待

- ・健康増進に寄与する良質な食材の提供
- ・地域食料提供による地域観光ブランド化

一体的な振興

奈良県豊かな食と農の振興に関する条例

基本理念

食と農の振興は、県民及び県を訪れる者に、安全で品質の優れた農畜水産物等及びおいしく食べる機会を提供するとともに、食のブランド化を進めることを基本とし、県民の健康増進及び豊かな食生活、子どもの健全育成並びに観光振興等の地域経済の活性化に資するよう、一体的に推進する。

条例に基づき、食と農に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画「奈良県豊かな食と農の振興計画」の策定を進めてきました。

もっと良くするために

「奈良県豊かな食と農の振興計画」を令和3年2月議会に提案し、同計画に基づき食と農の一体的な振興を図ります。

〇計画に位置づけた施策の方向性

<h4><奈良の食の魅力づくり></h4> <p>(1) 食の魅力の向上 ・食の担い手の育成 ・食の魅力に触れる、とができる拠点の整備(中央卸売市場等)等</p> <p>(2) 食の魅力を活かした誘客促進 ・ガストロノミー・ツーリズム等の推進等</p>	<h4><食を通じた健康増進と子どもの健全育成></h4> <p>(1) 農産物を活かした健康な食習慣の定着推進 ・スーパーマーケット等と連携した食環境の整備等</p> <p>(2) 子どもの健全育成に資する食事等の機会の提供 ・こども食堂の拡充等</p>
<h4><戦略的な販売の推進></h4> <p>(1) ブランド力の強化 ・高品質な農畜水産物のブランド認証等</p> <p>(2) 情報発信と流通の拠点整備 ・中央卸売市場 ・奈良まほろば館等</p> <p>(3) 戦略的販売の実施 ・主要な販路チャネルに対する販路拡大 ・産地直結型の流通経路の構築等</p>	<h4><生産振興></h4> <p>(1) 販売戦略を踏まえた生産振興 ・需要に応じた生産振興等</p> <p>(2) 生産者への支援 ・生産者の確保・育成等</p> <p>(3) 生産環境の整備 ・農機マネジメントの推進等</p> <p>(4) 研究開発 ・農業研究開発センターにおける研究開発等</p> <p>(5) 生産の安定性の確保</p>

令和3年度予算案 234百万円

R3予算案 234,201千円

R2年度に制定した「奈良県豊かな食と農の振興条例」に基づき
「奈良県豊かな食と農の振興計画」を策定

「奈良県豊かな食と農の振興計画」に基づく『食』と『農』の一体的な振興

奈良の食の魅力づくり

■県民や本県を訪れる人が、食を楽しむことができる機会を増やす

- ①なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)における食の担い手の育成 (158,415千円)
- ②奈良フードフェスティバルの開催 (5,500千円)
- ③ガストロノミー・ツーリズムの推進 (50,900千円) 等

戦略的な販売の推進

■県産農畜水産物等の販売拡大

- ⑥奈良県農畜水産物ブランド認証の推進 (1,825千円)
- ⑦奈良県農産物等の海外販路開拓を推進 (6,739千円) 等

食を通じた健康増進と子どもの健全育成

■県民への適切な食習慣の普及・定着
■食を通じた子どもの健全育成

- ④地域での食育の推進 (333千円)
- ⑤奈良県産給食の推進 (800千円) 等

生産振興

■県産農畜水産物の生産拡大

- ⑧リーディング品目、チャレンジ品目の支援 (8,506千円)
- ⑨なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)における食の担い手の育成(再掲)
- ⑩GAPの取組や認証の拡大・推進 (1,183千円) 等

<問い合わせ先>

- 食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 ①④⑤⑦⑨我妻課長補佐(内線3818)
②森本主幹(内線3811)
農業水産振興課 ⑥⑩國本課長補佐(内線3841)
⑧北畑課長補佐(内線3843)
観光局 観光プロモーション課 ③辻課長補佐(内線2581)

VII 豊かな「都」をつくる 22 農業・農地・農村・食と農の振興 (116) 食品ロス削減への対応

これまで

食品ロス削減のために県は様々な取組をしてきました。

取組内容

○「奈良県食品ロス削減推進計画」の策定を進めてきました。

○食品ロス削減に向けた県民への啓発の実施

- ・食品ロス削減推進フォーラムの開催
- ・バス車内広告、県民だより、啓発リーフレット、コンビニエンスストアでの啓発POP掲示等による県民への啓発
- ・環境情報サイト「エコなら」による情報発信

○未利用食品の活用推進

- ・フードバンク活動団体の支援



R3予算案 5,941千円

消費者、事業者等に対する啓発や、食品関連企業等で発生する未利用食品の有効活用により、食品ロスの削減を推進

R2年度の取組

- ・奈良県食品ロス削減推進フォーラムの開催
- ・食品ロス問題の認知度調査(県民アンケート)
- ・県民に対する啓発(リーフレット配布)
- ・コンビニエンスストアと連携し、POP掲示による啓発



コンビニエンスストアにおける「てまえどり」啓発POP



啓発リーフレット「食品ロスを減らしましょう」

R3年度の取組

「奈良県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロス削減に関する啓発及びフードバンク活動団体や事業者等と連携した食品ロス削減の取組を推進

①食品ロス削減の推進

(302千円)

- ・食品ロス削減推進フォーラムの開催
- ・食品関連事業者と連携し、食品ロス削減
- ・啓発ポスターの掲示やリーフレット配布による啓発

②産業廃棄物の排出抑制

(839千円)

- ・産業廃棄物の排出抑制や減量化に取り組む排出事業者が抱える課題等に対し、環境カウンセラーを派遣

③こども食堂コーディネーターによる支援

(3,500千円)

- ・民間協力企業の掘り起こし、こども食堂とのマッチング
- ・こども食堂開設・運営に係る相談支援

④未利用食品の活用促進

(1,300千円)

- ・こども食堂や福祉施設等に対するフードバンク活動を行うNPO法人等に対し、食品の集積・配送にかかる経費を支援



食品ロス削減推進フォーラム

もっと良くするために

「奈良県食品ロス削減推進計画」を令和3年2月議会に提案し、同計画に基づき施策を推進します。

食品ロスを削減するため、消費者や事業者に対する食品ロスに関する啓発を実施するとともに、食品ロス削減に取り組むフードバンク活動団体及び食品事業者等と連携した取組を推進します。

食品ロス削減に向けた普及啓発

○消費者や関係事業者に対し、啓発を実施します。

- ・消費者、事業者等に対し食品ロス問題の認知度向上のための普及啓発を実施(1百万円)
- ・産業廃棄物の排出抑制(環境カウンセラーの派遣)(1百万円)

未利用食品の活用推進

○フードバンク活動団体を支援し、こども食堂や福祉施設等への未利用食品の流通ルートを構築します。

- ・未利用食品の活用促進(フードバンク活動団体の支援)(1百万円)
- ・こども食堂コーディネーターによる支援(3百万円)

令和3年度予算案 6百万円

こども食堂が地域に根付いた活動として継続できるよう支援するとともに、未利用食品の流通ルートを確立し、**こども食堂等の安定運営と食品ロスの削減のための体制を構築**

<問い合わせ先>

- ①④食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 我妻課長補佐(内線3818)
- ② 水循環・森林・景観環境部 廃棄物対策課 田原課長補佐(内線3381)
- ③ こども・女性局 こども家庭課 中川課長補佐(内線2871)

VII 豊かな「都」をつくる 23 畜産・水産業振興 (117) 食肉公社の適切な運営と大和畜産ブランド力の向上

これまでは

食肉公社の運営のあり方について検討しました。

県と畜場の役割は「安心安全な食肉の提供」「生産者・流通業者の利用のしやすさ」であり、と畜場の適切な運営に努めてきました。

生産頭数は、ここ5年間はほぼ横ばいです。
奈良県は生産地、消費地の両側面を持ち、大消費地の都市部にも隣接し、大和畜産ブランドの品質向上に努めてきました。

大和牛	ヤマトボク	大和肉鶏	(乳用牛)
生産者・消費地 (県別割合%)	宇陀市、御杖町、 五條市(56%)	奈良市、五條市、 大和郡(56%)	五條市、宇陀市、 奈良市(56%)
生産頭数 (千頭)	1,226	6,200	981
生産額 (百万円)	4,200	5,387	567
生産単価 (円/頭)	3,346	869	578
生産効率 (%)	0.16%	0.08%	0.04%

R3予算案 352,402千円

〈食肉畜産業の振興〉

大和畜産ブランドの上質化と流通を推進することで、奈良県の畜産を振興

大和畜産ブランド
の推進
(1,226千円)

大和畜産ブランド
の付加価値を高め、
認知度を向上させる
取組に対し支援

大和牛の品質向上に
に向けた支援
(6,200千円)

奈良県プレミアムセ
レクト大和牛の認証
率向上に向け、優良
血統牛の導入を支援

新大和肉鶏の
流通を推進
(981千円)

新大和肉鶏の供給
体制の確立に向け
た育成試験を実施

奈良県プレミアムセレクト大和牛



もっと良くするために

食肉公社の適正なと畜規模を設定し「効率的で適正な運営」に努めます。

○と畜頭数について、牛:3,150頭/年、豚:10,000頭/年
を目標とします。

○奈良県食肉センター運営費補助(344百万円)

大和畜産の特徴に応じてブランド力向上に取り組めます。

	大和牛	ヤマトボク	大和肉鶏
良い所	肉質の柔らかさ	子豚の価格	認知度の高さ
課題	生産頭数の少なさ	特徴の弱さ	価格の高さ
取組	「みづえ高原牧場等 備用する県内産大和 牛の生産体制の確立	大和牛・ヤマトボク の育成	「新・大和肉鶏の高生 産」による生産コスト の削減

○大和畜産ブランド確立への支援(1百万円)

○大和牛の安定生産のための優良血統牛の導入支援

(6百万円)

○次世代大和肉鶏の生産流通体制確立試験(1百万円)

令和3年度予算案 352百万円

〈食肉公社の運営〉

食肉センターの施設管理とと畜事業を適切に運営することで、安全安心な食肉を供給

奈良県食肉公社運営費補助(343,995千円)

奈良県食肉センターの施設管理、と畜業務
等の運営費やHACCPに対応するための
整備費に対する補助



奈良県食肉センター

〈問い合わせ先〉

食と農の振興部

畜産課 須原課長補佐(内線3882)

Ⅶ 豊かな「都」をつくる 23 畜産・水産業振興 (118) みつえ高原牧場の整備

これまで

- これまで「優良和牛の素牛の供給・繁殖技術の研究」、「乳牛の育成場所の提供」の役割を果たすとともに、約1,500頭の優良和牛の素牛を生産・供給してきました。
- 今後の畜産振興に活かしていくため、未利用地の活用方法を検討してきました。



みつえ高原牧場(Ⅰ期用地)

- 新たな役割として「県生まれの大和牛の生産・育成拠点」、「地域の観光交流拠点」を加えて整備することとしました。
- 東部地域の活性化に寄与するため、平成29年9月に御杖村と「まちづくりに関する包括協定」を締結しました。

もっと良くするために

みつえ高原牧場の一部を活用して畜産団地を整備、畜産団地への畜産農家の誘致を進め、和牛(大和牛)・乳用牛の生産拠点とし、東部地域の振興と畜産振興を図ります。

- 令和7年度 畜産団地 一部オープン予定
令和10年度 畜産団地 フルオープン予定
- 大和牛のブランド化にあたり、大和牛のブランド基準の整理を図り、「生産(出荷)頭数1,000頭以上」を目標とします。
※ブランド基準は、「県内農場で育成」、「肉質」、「出荷先」等
- 堆肥の地域内流通等を進めて耕畜連携を推進する等、家畜排せつ物の有効活用について検討します。



畜産団地の牛舎(イメージ)

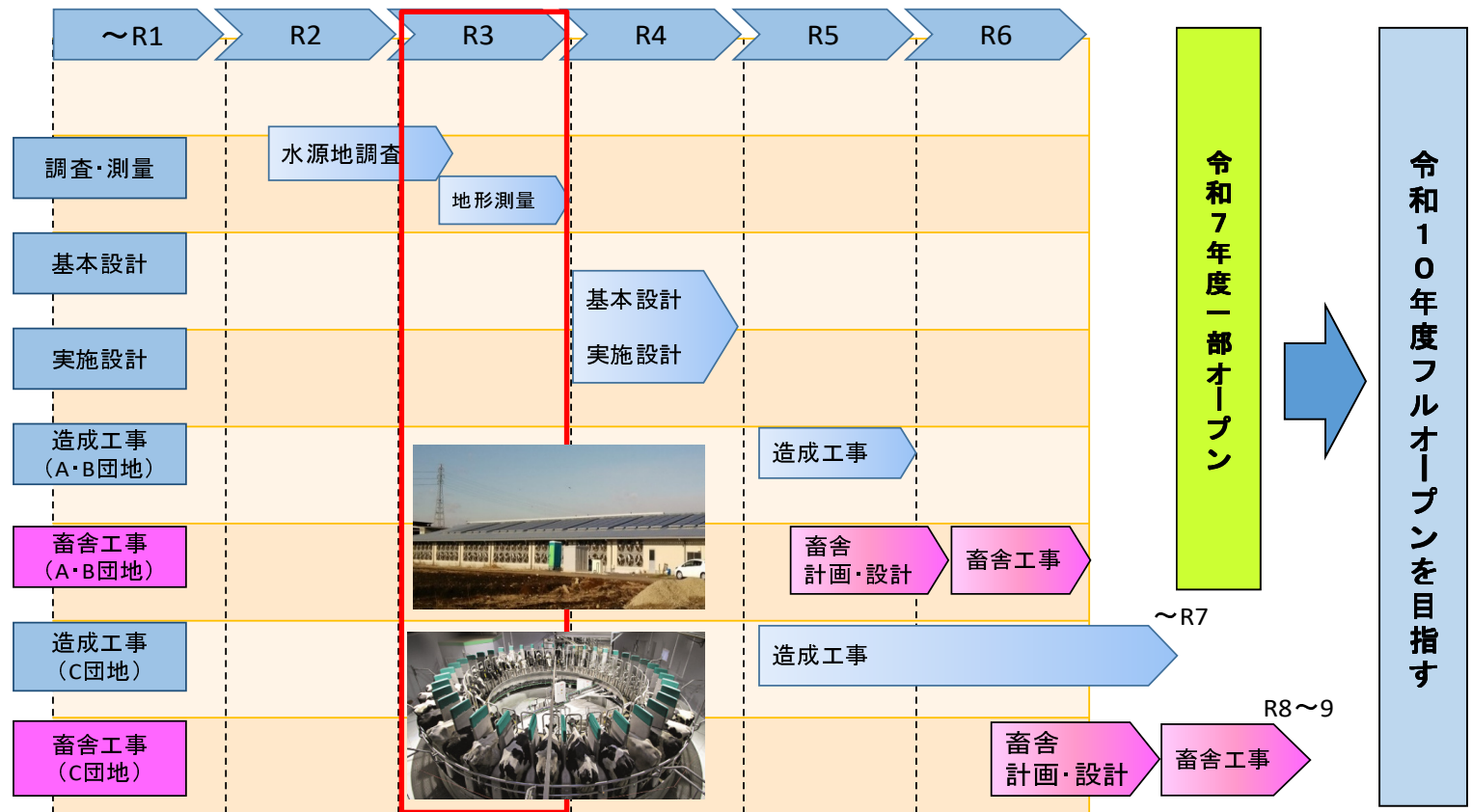
令和3年度予算案 19百万円

R3予算案 18,560千円

みつえ高原牧場の一部を活用して畜産団地を整備し、畜産農家を誘致することにより、肉用牛(大和牛)・乳用牛の生産拠点とし、東部地域の振興と畜産振興を図る

<R3年度の取組>

- ・**新** 畜産団地用地の測量調査
- ・必要な水源を確保するための揚水調査



<問い合わせ先>

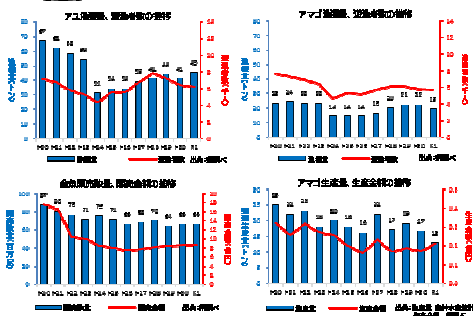
食と農の振興部
畜産課 朝倉主幹(内線3881)

VII 豊かな「都」をつくる 23 畜産・水産業振興 (119) 内水産業の振興

これまで

県内水産業振興のための取組を進めてきました。

現状



主な取組例

- 安全・安心なアマゴ等食用魚の養殖生産技術を指導
- 觀賞魚の安定生産に係る魚病対策などの取組を支援
- 健全でよく釣れるアユ稚魚の放流及び天然アマゴの増殖を支援
- アユ釣り教室の開催により釣り人を増やす取組を実施
- 放流魚及び養殖魚の食害を軽減するためカワウの捕獲を支援
- 食害が懸念される外来生物の防除技術を開発

R3予算案 8,131千円

養殖魚の生産・販売促進、健全なアユ等の増殖や外来生物による食害防止等の取組により、本県水産業の維持・発展に繋げる

R3年度の取組

○養殖業振興(920千円)

- ・**新觀賞魚養殖における高級品種の生産・販売を支援**
- ・養殖魚の衛生管理等を指導

○漁業振興(5,925千円)

- ・健全で適正なアユ等の養成・放流及びアマゴの資源増殖のための取組を支援
- ・魚類の生息状況調査及び保菌検査等
- ・外来生物の行動生態等調査及び効果的な防除方法を開発・普及
- ・カワウの生息状況の把握及びカワウによる食害軽減のためカワウの捕獲を支援

○組合指導(1,286千円)

- ・水産業協同組合の指導監督及び漁業取締等

もっと良くするために

奈良県水産業の持続的な発展のための**新たな取組**を進めていきます。

○養殖業振興のための今後の取組

- ・意欲ある担い手の新たな挑戦を支援
- ・陸上養殖による養殖魚を地域の新たな特産品として育成

○河川漁業振興のための今後の取組

- ・地域の食や観光の資源であるアユやアマゴ等の釣りを楽しむ人の増加に向けた取組を支援
- ・放流魚等の食害を防止するため、外来生物の防除方法の普及・啓発

養殖業振興(1百万円)

- ・**(新)觀賞魚養殖における高級品種の生産・販売を支援**
- ・養殖魚の衛生管理等を指導 等

漁業振興(6百万円)

- ・外来生物の行動生態調査・防除方法の開発・普及 等

組合指導(1百万円)

- ・水産業協同組合の指導監督及び漁業取締等を実施

令和3年度予算案 8百万円

<高級觀賞魚の生産・販売支援>



金魚の選別作業

高級品種



琉金



コメット



朱文金



ランチュウ

<問い合わせ先>

食と農の振興部
農業水産振興課 岡村課長補佐(内線3844)